

令和4年度 若竹苑PDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状

担当エリアの人口は13,957人、高齢化率が24.5パーセント、となっています（2021年3月、現在）。少子高齢化が進んでいます。2019年11月に羽沢横浜国大前駅が開業し、2023年3月には相鉄・東急直通線が開通する予定です。今後、駅周辺の開発で交通や買い物等の利便性の向上が期待される他、バリアフリー基本構想にもとづいた、街づくりも行われています。一方で、環境の変化への対応や、大規模マンションや等の建設が進み、新たに移り住んでくる住民層とのつながりや協力をどう進めていくかが課題でもあります。

「助けられ上手、助け上手な街 羽沢」のスローガンのもと、地域福祉保健計画、羽沢プロジェクトなどの住民活動が活発に取り組みされており、その結果として多くのサロン等や子どもの居場所が立ち上がりました。区民意識調査においても、近所付き合いのしやすさ、定住意向などの向上がみられています。また介護事業所等にも理解が得られ、取り組みへの参加や、協力がみられています。

課題としては、いまだ孤立している世帯は多くあり、つながり作りための多様な取り組みと継続が必要になることがあります。また、地域での子育てについての検討など、取り組みが広がる中、担い手の裾野をひろげ、みんなで自分事として進めていく地域づくりが必要です。身近なつながり作りから、具体的な見守りや支え合いの仕組みづくりへと進めていくに当たっては、多様な主体、機関との連携、協働もより深めていく必要があります。

今後の方向性

地域の様々な課題にさらに取り組み、解決していくために、取り組みを、よりすそ野へと広げていくことが必要になっています。そのためには、身近なつながりや顔の見える関係づくりを進めつつ、担い手の発掘・育成、お互いさまに助け合える地域文化の啓発、ひいては、地域コミュニティそのものを醸成していくことが大切です。また、それらに長期的、計画的に取り組むために、多様な課題を、丸ごと受け止め、多くの関係者とのネットワークを広げ、実効的な取り組みの推進母体を構築していくことも、大切だと考えています。さらに、コロナ禍における取り組み方の工夫を積極的に取り入れ、新たな地域づくりの在り方も模索していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢分野のみならず、子どもや障がい、生活困窮者等の情報も随時蓄積していきます。把握した情報に関しては所内で共有するほか、可能な範囲で、地域住民や事業所、他機関等と共有できるよう、対応していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「助けられ上手、助け上手な街 羽沢」のスローガンにある助けられ上手に焦点をあて、羽沢版向こう三軒両隣の仕組みづくりをすすめていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	住民主体で動き出した「羽沢子育て支援ネットワーク」の円滑な運営ができるようにサポートを行っていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	区と連携し、元気づくりステーションの継続的な支援や体力測定の手先の育成、また、介護予防普及啓発事業やシニアクラブ出張健康講座やフレイル予防を周知し、住民が主体的に取り組むことができるよう支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ケアマネジャーに地域資源の情報提供や仲介、ケアマネジメントスキル向上等を随時支援しつつ、他のケアプラザとも連携して研修の場を設けます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

【各項目の振り返り】

- ・多様な相談について、所内で共有し、複数の視点で検討しながら関わりました。複合的な課題を抱えたケースは、特に連携を意識し、他機関や他事業所を交えた支援を行いました。
- ・向こう三軒両隣の仕組みづくりをすすめるために、羽沢プロジェクトでは、地域課題の共有や検討、「助けられ上手」についての考察を行いました。また今年度は地域ささえあい連絡会も開催することができ、地域の方々と一緒に「助けられ上手」について考察ができ、そして地域のすそ野まで届けられるようチラシ作成の承諾を得ることができました。各自治会町内会や民生委員児童委員協議会等とも連携し、イベント自体を楽しむだけでなく、地域でのつながりづくりや世代間交流が感じられる、ウォーキングイベントを南部および北部で企画をし、実施しました。
- ・5か所の元気づくりステーションに、積極的に参加して後方支援を行った他、体力測定では新しい2人の担い手の方にも、協力を得ることができました。介護予防普及啓発事業では、地域の高齢者やシニアクラブに出張講座を行い、フレイル予防の必要性を周知し、地域の方が、主体的にアクション出来るよう、取り組みました。
- ・ケアマネジャー向けに毎月けあまねカフェを行いました。全て対面で開催し、ケアマネジャーの事業所内や地域を超えた横のつながり、医療職とのつながりが構築できる機会となりました。また、日頃の業務の疑問を、共有できる機会となりました。

【全体を通して】

新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、地域での活動を、どのように感染対策をして活動を継続していくかが、重要とされています。長期化の影響で、活動量が減っている外に出ない高齢者のフレイル予防は重要な課題です。「助けられ上手、助け上手な街 羽沢」をより多くの方が実感できるよう、地域の皆様と一緒に、様々な取り組みを進めていきたいと思えます。

区からのコメント

今年度も新型コロナウイルスの影響を受けながら、どのような感染対策をすれば、活動を継続できるのか、できない場合は代わりの方法はないのかといった視点で事業を進められたかと思えます。

相談・支援では、羽沢地区で行われているサロン、ミニデイにできる限り参加し、情報収集に努めるとともに相談につなげることができました。また、羽沢地区のネットワーク機能の柱となっている「羽沢プロジェクト」を中心に地域の関係者への情報提供を行いました。

住民主体の地域づくりでは、羽沢子育て支援ネットワークにおいて規約の見直しを行って、より住民自身が直接的に関われるよう改善しました。マップ作成やみち遊びなど新しい取り組みも次々と生まれたのは、ネットワークの運営支援を着実にいった結果だと感じています。また、イベントや相談支援など様々な機会に羽沢地区地域福祉保健計画のスローガンを広めることができました。

区役所との協働では、羽沢小学校5年生に行う健康教育の授業を一緒に考え、短期間で一つの形にすることができた事も印象に残りました。互いの専門分野を活かす中で、当日子どもたちの笑顔につなげられたのは大きな成果です。

高齢者のフレイル予防では、5か所の元気づくりステーションに参加するほか、体力測定・通いの場等の地域活動を積極的に支援しました。

今後も「助けられ上手、助け上手な街 羽沢」をより多くの方が実感できるよう、様々なアイデアや考察を期待しています。

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・相談時の事業所の紹介にあたっては、必ず事業所の一覧表を提示したうえで、ご利用者様が主体的に事業所の選択ができるよう、情報提供を行います。	・個人情報に係る研修を全職員へ行います。 ・毎月の職員会議に置いて、市内事故状況を共有し、必要があれば予防策を講じます。
実績	・事業所の紹介の際には、必ずホームページを使用し、事業所の一覧表を提示。ご希望に沿って公正中立な事業所選択ができるように、事業所の特徴を伝えて対応した。	・個人情報保護に係る研修を、全職員に対して行っている。 ・定期的な会議で、市内のケアプラザにおける事故状況を共有し、各職員のルールを順守を徹底した。。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ご本人が目標の達成に取り組んでいけるよう必要なサービスや地域のインフォーマルサービス等を組み込み、地域の特性を生かし、心身機能・活動・参加にバランスよく、アプローチする支援ができています。	
職員体制	管理者:常勤兼務 看護師:常勤兼務 主任介護支援専門員:常勤兼務 社会福祉士:常勤兼務	
契約者数	115名 (うち直営4名)	

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	--	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	ふれあいコンサート&朝いち	R2	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	つながりや見守りをテーマに、地域の方々がつながれる「場」づくりを通して、全世代がつながり・役割・居場所により、その人(子)らしく成長することができる、ふれあい活動を通しての地域づくりをすすめる。	5:地域	4	実施時期:未定 事業内容:コンサートと朝いち実施できず
2	若竹苑出張相談会 さくらサロンみやむかい	H28	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題がある。そこで、地域の誰もが集まる「場」を利用し出張相談を開催することで、気軽に相談できる場を提供することを目的に開催。	1:高齢者	5	実施時期:毎月第3水曜 事業内容:介護保険の相談、健康相談、見守りキーホルダー登録、地域活動紹介など
3	若竹苑出張相談会 長谷サロン	H30	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	羽沢エリアは交通の便が悪く、地域包括支援センター若竹苑のある場所まで相談に来ることが難しいという課題がある。そこで、地域の誰もが集まる「場」を利用し出張相談を開催することで、気軽に相談できる場を提供することを目的に開催	1:高齢者	5	実施時期:毎月第2火曜日 事業内容:介護保険の相談、健康相談、見守りキーホルダー登録、地域活動紹介など
4	子育て支援ネットワーク みちあそび	R4	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	子育て支援に関する講座を、地域と連携して開催し、新たな担い手の発掘やネットワークづくりをすすめ、地域づくりにつなげる。	4:子ども・青少年	5	実施時期:未定 事業内容:ご近所の道などでイベントを仕掛けることでご近所同士の交流を深め見守りを仕掛ける
5	羽沢子育て支援ネットワーク	R2	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	親子のおかれている状況、背景を地域全体で共有し、自分事としてとりくめる地域づくりを目指す	3:養育者及び乳幼児	1・5	実施時期:毎月第1金曜日 事業内容:(1)子育てに関わる様々な団体と課題を共有し、解決するための協議や実践 (2)子育て支援に通じる地域づくりを進めるための企画及び実践 (3)役所や学校など関係機関との連絡・調整、関係づくり (4)SNS等を活用した情報発信を通じてのつながりや助け合いの関係づくりや啓発 (5)その他、本会の目的を達成するために必要な事業
6	外遊び応援隊コラボ事業	H30	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	①子ども対象の事業に高齢者がボランティアとして関わることで、世代間交流をおこなう ②世代間交流をしかけることで、地域での見守りの輪をつくる	3:養育者及び乳幼児	1	実施時期:7月・9月 事業内容:水遊び
7	つどいの広場しゅーくるーむ コラボ事業	R2	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	子育て中の親子と地域の方をつなぐ世代間交流を目的に実施	3:養育者及び乳幼児	1	実施時期:10月下旬 事業内容:ハロウィンイベント
8	北部ウォーキング実行委員会	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で地域のつながりが希薄している中、地域イベントをおとしてつながりづくりをおこなうとともに地域の人材育成を図る	5:地域		開催時期:4月～12月の第1日曜日 事業内容:ウォーキング実施のための打ち合わせ
9	けあまねカフェ	H27	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーをはじめとして、羽沢地域に関わる事業所の横のつながりをつくりながら、医療と介護の連携、地域住民との連携、スキルアップを勧める。	6:事業者	1・5	実施時期:毎月第2水曜日 事業内容:協力医である小川橋医院、鈴木医師を交えて、医療的な質問等も多く出る。そのほか、意見、情報交換等を行う。
10	羽沢北部わくわくウォーキング	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	イベントありきではなく世代間交流や顔の見える関係、つながりづくりを目的に開催	5:地域		開催時期:11月19日(土) 事業内容:ウォーキング
11	羽沢南部ウォークラリー打ち合わせ	R2	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で地域のつながりが希薄している中、地域イベントをおとしてつながりづくりをおこなう	5:地域		開催時期:12月～3月までの日もしくは土曜日 事業内容:ウォークラリー開催までの打ち合わせや下見
12	にこにこつみき・羽沢南すくすく かめっ子共催事業 ハロウィン仮装パーティー	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子と地域の方をつなぎ、お互いが見守り見守られる現代版向こう三軒両隣を目標としたまちづくりを目指す	3:養育者及び乳幼児	1	開催時期:10月28日(金) 事業内容:仮装した未就園児とその親が自治会館を拠点にその周辺に住む方の自宅をまわりふれあいをおこなう

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
13	ライフデザインノート活用講座 1	R4	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	「終活」への関心を高める目的で、区民に向けてライフデザインノート啓発講座を行う。	1：高齢者	1	全体講座：8/24(区高齢障害支援課・神奈川区区内社会福祉連絡会共催)
14	ライフデザインノート活用講座 2	R4	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	「終活」への関心を高める目的で、神奈川区版エンディングノート「ライフデザインノート」の周知・活用するための講座を行う。	1：高齢者	1	活用講座・書き方講座は2包括ごとに計8回実施している。 菅田・若竹苑共催は10/31、11/7実施